

面積: 125,060平方キロ

(日本の本州の約1/2)

(全米50州中32位)

人口: 2,943, 045人

(US Census Bureau, 2024) (全米34位)

州都: ジャクソン 愛称: マグノリア・ステート

# ミシシッピ州概要

2025年12月現在  
在ナッシュビル総領事館

## 政治

### 【州政治】

- 知事: テイト・リーブス(Tate Reeves) (共)、2024年1月就任 (2期目)
- 議会構成: 二院制 (2025年12月)  
上院議席数52 民主党14 共和党36  
下院議席数122 民主党39 共和党79 無3 空席1
- 内政状況:

ミシシッピ州は、全米でアフリカ系アメリカ人が人口に占める割合が最も多い州であるが南北戦争の爪痕が社会においても未だ濃く、非常に保守色が強い。州議会では、上院・下院共に共和党が主導権を握る。

ミシシッピ州で制定された妊娠後15週以降の人工中絶を禁止する法律は、連邦最高裁にて合憲性が審議されることとなり、2022年6月、連邦最高裁は、女性の人工妊娠中絶権を認めた1973年の「ロー対ウェイド判決」を破棄。全米の注目を集めた。

最近の動きとして、2022年11月の連邦下院議員選挙・共和党予備選挙決選投票では現職のステーブ・パラッツォ連邦下院議員がジャクソン郡保安官のマイク・エゼル候補に敗北。その他、現職議員3名は順当に勝利。

2023年は、州知事、副知事、司法長官、州務長官、財務長官、州上院・下院議員等の選挙があった。11月の選挙で民主党州知事候補のブランドン・プレスリーが追い上げを見せたが、リーブス州知事が決選投票無しに当選した。

### 【連邦政治】

- 大統領選挙人数: 6名
- 2024年大統領選挙における勝利政党: 共和党 (得票率60.9%)
- 連邦上院議員:  
ロジャー・ウィッカー(Roger F. Wicker) (共)  
シンディ・ハイド-スミス(Cindy Hyde-Smith) (共)
- 連邦下院議員(議席数4名): 民主党1名、共和党3名

## 経済

### 【州経済】(2024年)

- 主要産業: 金融・保険・不動産、行政、製造、小売り、教育、専門サービス
- 名目GDP: 1,575億ドル (全米37位)
- 1人当たり個人所得: 52,017ドル (全米37位)
- 失業率: 4.0% (2025年7月) (全米平均4.2%、28位)
- 輸出額: 138.6億ドル
- 主な輸出品目: 石油・石炭製品、コンピューター・電子機器、その他製造品、化学製品、輸送機器
- 輸出相手国: カナダ、パナマ、メキシコ、ホンジュラス、オランダ、ベルギー、グアテマラ、中国、日本
- 経済状況:

かつては綿花王国として最も裕福な州の一つであったが、南北戦争の主戦場となり州経済が大打撃を受けて以降、全米で最も貧しい州となり、現在も州民一人当たりの所得が全米で最も低い州となっている。

近年では、州内に日産、トヨタ、横浜タイヤの大型工場を擁し、自動車関連製造業が盛んになっている。また、理工系大学との連携等により、航空宇宙産業や防衛産業の誘致に成功しているほか、ラスベガスに次ぐとも言われるカジノ関連の観光・サービス業、また、建設業も成長している。養殖業も盛んで、ナマズの生産量は全米一。

### 【対日経済】(2024年)

- 対日輸出額: 6.01億ドル
- 主な輸出品目: 木材製品、その他製造品、コンピューター・電子機器、化学製品、紙製品、機器、その他製造品、機械、石油・石炭製品
- 日系企業関連拠点数: 128社 (2025年)
- 日系企業による雇用数: 約1.1万人
- 主な日系企業: 日産、トヨタ、カサイノースアメリカ(自動車部品)、横浜ゴム、味の素、カルビー等
- 州駐日事務所あり (横浜市)

## 日本との関係

### 【要人往来等】

- 24年、コーク開発局長が訪日。
- 23年10月、ヒップ経済開発長官が日米南東部会参加のため訪日。
- 18年5月、ブライアント州知事が訪日。
- 17年10月、ブライアント州知事が日米南東部会(於サウスカロライナ州)に出席。
- 16年9月、日米南東部会に際し、マツカラ経済開発長官が団長として訪日。

### 【文化、広報関係】

- 2024年9月、デービッド・P・ランバーガー在テュペロ名誉領事任命。
- 2016年より、ミシシッピ日米協会、テュペロ市、リー郡と当館の共催にて、北ミシシッピ桜祭りを毎年3月に開催。
- 州内の2校の大学(ミシシッピ大学及びミシシッピ州立大学)で日本語の授業が開設されている。
- 在留邦人数 (2025年10月時点): 約700人
- 姉妹都市関係 (0)